

日本学術会議の組織・ガバナンス等に係る論点整理

○ 地区会議、地方学術会議、若手アカデミー、栄誉会員

【要検討事項】

①地区会議、地方学術会議、若手アカデミー、栄誉会員それぞれについて、見直しを行うか。

→見直しの例：

○若手アカデミー会員について、

- ・会員又は連携会員以外からの選任も可能とする。
- ・年齢要件を見直す。
- ・年齢ではなく学位取得後年数を要件とする。

(※参考資料 1：若手アカデミーの意見)

○栄誉会員以外に、特別なカテゴリーの会員を作るか。

(※外国人会員は会員選任制度検討分科会において、協賛会員は自己資金検討WGにおいてそれぞれ検討予定)

(ガバナンス)

○ 内部監査

【要検討事項】

- ①内部監査組織を置くか。置く場合、組織上どのような位置づけとするか。
- ②内部監査組織はどのような役割を担うか。
→学術会議の「業務の監査」か。それ以外の役割を担うか。
- ③監事との関係はどのように整理するか。
→協力して監査を実施するか、何らかの役割分担を行うか。
- ④自己点検評価に関与するか。

○ 中期的な活動計画、年度計画、自己点検評価

【要検討事項】

- ①中期的な活動計画、年度計画、自己点検評価それぞれについて、どのような手続で作成、実施するか。
→作成や評価作業のための委員会の設置や、外部評価を実施する場合は外部評価との関係性等
- ②中期的な活動計画、年度計画、自己点検評価それぞれについて、検討すべき点はあるか。

○ 外部評価

【要検討事項】

- ①-1 外部評価を実施するか。
- ①-2 中期的な活動計画・年度計画や自己点検評価との関係はどのように整理するか。
→毎年度自己点検評価を行った後、内閣府に置かれる評価委員会に提出し、必要があるときは評価委員会が意見を述べることとされているが、外部評価を行う場合、例えば、自己点検評価をベースに外部評価を行い、外部評価も踏まえて最終的な自己点検評価書を作成するなど、自己点検評価の流れに組み込む形で実施することとするか。
- ②外部評価有識者（会議）の位置づけをどうするか。常設の委員会等とするか。
- ③現行の外部評価対応委員会に当たる委員会を設置するか。